

AUSSTELLUNG

ADLER, KARL UND STRUWWELPETER



30. Juni - 31. Dezember 2021

STRUWWELPETER MUSEUM

Hinter dem Lämmchen 2-4
60311 Frankfurt am Main

www.struwwelpeter-museum.de



Japanese



MICHAEL APITZ

ミハヤエル・アピッツ

www.apitz-art.de

1965年エルトヴィレ/ラインガウ生まれ
ヴィースバーデン専門大学にてデザイン専攻
デザイナー学位取得

フリーランスの画家・グラフィックデザイナーとして活動。

ワインコミックのキャラクター「カール・デア・シュベートルレーゼライター」(1988年以來、これまでに12巻が出版されている)の作者。漫画家として、様々なメディア、企業、個人向けに数多くの出版物や委託作品を手掛けている。

コミック作品と並行して、1995年より自由絵画の分野で作品を制作。ラインガウ、ヴィースバーデン、マインツ、コーブレンツ、フランクフルト、ベルリン他で個展を開催。

シュトルヴェルペーター博物館

唯一フランクフルト・アム・マインだけに存在する、世界的に有名な『シュトルヴェルペーター(もじゃもじゃペーター)』とその著者ハインリッヒ・ホフマン博士の博物館。それは新しくなった旧市街にある2軒の美しい建物の中にあります。カラフルで情報満載の、すべての年齢層にとって楽しいこの展覧会は、フランクフルトの多才な医師で作家のハインリッヒ・ホフマン博士(1809-1894)について紹介しています。ポートレートや手紙、スケッチ、初版本の数々に彼の精力的な活動を見ることができます。博物館を訪れる人々は、生粋のフランクフルト人だったハインリッヒ・ホフマンへの理解を深めることができます。彼は精神医学の改革者で、ユーモアあふれる詩人でした。社会的、政治的に活発に活動し、そして愛情深い家庭人でもありました。貴重な本の展示や数々のパロディー、大衆的作品、芸術的作品等が紹介されており、彼の絵本が世界的に普及していることを示しています。常設展に加えて、文化史と児童文学についての特別展も開催されています。ミュージアムショップには関連グッズや書籍など各種取り揃えられています。

日本語訳 : Sushi & Sauerkraut

<https://www.sushiundsauerkraut.com>



Arite COMICS



カール・デア・シュベートルーゼライターは、おそらくミハエル・アピッツのペンから生みだされた最も有名な漫画キャラクターでしょう。ラインガウの金髪のヒーローは1988年、原作者エーバーハルト・クンケルとパトリック・クンケルと共に、漫画の世界に登場しました。

カールはすぐに「ドイツのアストリックス」として知られるようになりました。この合計12巻のシリーズは80万部以上も売上げました。物語の舞台は18世紀に設定されていますが、現代への多くの示唆を含んでいます。豊かな地方色とワイン造りに関する興味深い情報、そしてユーモアたっぷりの物語はすぐに熱心なファンの心をとらえました。有名人の似顔絵はストーリーをさらに盛り上げています。



ミハエル・アピッツが描いたもう一つのヒット作は、コミックアドベンチャーシリーズの「クリス&マーティ」です。

作画はベルンハルト・シュペーとの共作です。シナリオとテキストはクリストフ・ヒレブランドとミシェル・ポマーによるものです。

詳細はこちらwww.chris-marty.de



ラインガウナー

ラインガウナーは自由を愛し、故郷から離れず、そしてリースリングに強いという典型的なラインガウ人です！彼の冒険をエーバーハルト・クンケルが詩に書き、ミハエル・アピッツが作画しました。

物語にはパトリック・クンケルによる歴史の解説が加わり数多くの本が誕生しました。

更には音楽家クラウス・ブランツェンが物語に曲もつけました。ラインガウナーは熱狂的なファンを持つカルト的な漫画です！



ハリウッド—エッベルヴォイモメンツ

2019年春、アピッツはヴィースバーデン・クアハウスで開催されたVDP (ドイツ高品質ワイン醸造家協会)「ワイン・ボール (晩餐会)」のために絵画の連作「ハリウッドワインモーメンツ」を製作しました。この格別な「ワインのひとつき」のために、多才な芸術家アピッツは、映画作品に素材を求め、ハリウッド映画史に残る有名なシーケンスを彼独自の手法でカリカチュアに表現しました。

アピッツはそれぞれの絵画にワインを一つ添えています、それがその場面をまったく新しく演出しています。とりわけ『シュトルヴェルベーター展』では、アピッツは最も人気のある主題の中で、リースリングワインの代わりにPOSSMANN社のエッベルヴォイ (ヘッセンの方言でアップルワイン、シードル)を描いています。これは素晴らしくフランクフルト風なのです！



IM ADLER-OLYMP

2007年8月、「IM ADLER-OLYMP」のタイトルのもと、ミヒャエル・アピッツの最初のアイントラハト・コミック・シリーズがSGEのスタジアム冊子に登場しました。アピッツは、アイントラハトの当時のメディアオフィサー、ミヒャエル・ファイクと共に彼が応援するクラブについての物語を展開しました。そのシリーズは2012年のブンデスリーガシーズンの終わりまで定期的に連載されました。（訳注：アイントラハト・フランクフルト（Eintracht Frankfurt e. V.）は、ドイツ・ヘッセン州・フランクフルト・アム・マインに本拠地を置く総合スポーツクラブ、略称SGE。ブンデスリーガ1部所属のサッカー部門が特に知られている。）

IM HERZEN VON EUROPA

2012年シーズンの終わりにアイントラハトのスタジアム冊子での「ADLER OLYMP」の連載が終了した後、ミヒャエル・アピッツは8月、フランクフルター・レントシャウ紙に折り込まれる、ホーム試合の特集ページに「IM HERZEN VON EUROPA」というシリーズをスタートしました。この短編コミックでもまたSGEについて最新のニュースが紹介され、多くの選手や有名人の似顔絵が描かれました。（2016年までの）4年間でアイントラハトはまた3人の監督が交代しました。フェー氏、シャーフ氏、再びフェー氏、そしてコヴァチ氏です。

SGE4EVER.de-Cartoons SCHWARZ-WEISS

漫画「SCHWARZ-WEISS（訳注：黒白はアイントラハトのチームカラー）」では、2人のハードコアなファンの視点で「気分屋のディーバ（訳注：アイントラハトのニックネーム）」に関する出来事が語られています。生粋のフランクフルトっ子のアンディとマイクは、確かに多くのアイントラハトサポーターのあいだでよく知られているようなことを経験します。ミヒャエル・アピッツは、これらのエピソードをオンラインマガジンSGEフォーエバー（2016-2018）のために描きました。

Adlergebabbel

Adlergebabbel アドラーゲバベル（訳注：アドラーのおしゃべりの意）

2016年よりマイケル・アピッツは再び、直接アイントラハト・フランクフルトのためにイラストを描いています。彼は試合日当日にADLERGEBABELでヘッセンの方言での詩やモットーをイラストで紹介。これらのイラストは、主にアイントラハトのフェイスブックで見ることができます。ホームゲームの時には新聞折り込みの裏ページや、一部はスタジアム冊子にも印刷されています。